

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果・分析について

尾道市立日比崎小学校・尾道市立日比崎中学校

国語科

日比崎小	尾道市	広島県	全国
72%	68%	69%	66.8%

結果（成果○と課題●）

- 話し手の考えを比較しながら考えることができています。
- 基本的な漢字が定着している。
- 資料と関連付けて読むことができていない。
- 条件に合わせて書くことに課題がある。

日比崎中	尾道市	広島県	全国
58%	54%	55%	54.3%

結果（成果○と課題●）

- 自分の考えを文章で表現できている。
- 読み手の立場で文章を校正することができている。
- 情報の整理・分析力に課題がある。
- 漢字を書くことに課題がある。

算数科・数学科

日比崎小	尾道市	広島県	全国
61%	57%	59%	58.0%

結果（成果○と課題●）

- 基本的な知識・技能は定着している。
- 知識・技能を活用した応用問題に課題がある。
- もとにする数を使った計算の仕方を説明する力に課題がある。

日比崎中	尾道市	広島県	全国
51%	49%	47%	48.3%

結果（成果○と課題●）

- 基本的な計算問題を解くことができています。
- 知識の定着に課題がある。
- 複数の資料や観点をを用いて説明することに課題がある。

理科

日比崎小	尾道市	広島県	全国
62%	59%	59%	57.1%

結果（成果○と課題●）

- 自分の考えを記述することができています。
- 金属の性質が理解できていない。
- 資料を正しく読み取れていない。

IRT スコア

日比崎中	尾道市	広島県	全国
526	485～494	495	503

○IRT：項目反応理論（Item Response Theory）と呼ばれる統計理論。生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定することができる。

結果（成果○と課題●）

- 基本的な知識を問う問題の正答率が高い。
- 問題文から場面を予想し、考えをまとめることに課題がある。

質問紙調査

結果（成果○と課題●）

- 小学校では、縦割り班や学級活動を通して、友達や先生は自分を認めてくれていると感じている児童が多い。
- 中学校では、学校行事での縦割り活動や部活動を通して、学校生活を楽しんでいる生徒が多い。
- 小中学校では、ICT 機器を積極的に活用することを通して、ICT 機器の活用能力が高まっていると感じている児童生徒の割合が多い。
- 小学校では、自己肯定感の高い児童と低い児童の2極化傾向にある。
- 中学校では、困りごとを教員へ相談することに関する項目が低い。
- 小中学校では、テストの点数が取れている一方で、学習に対して肯定的な回答をする児童生徒の割合が低い。

小中学校の共通課題

- ・文章や資料をていねいに読み取り、必要な情報を選択しながら、複数の情報を関連付けながら考えること。
- ・根拠をもとに、自分の考えを論理的に表現すること。
- ・児童生徒の困りごとに対してフォローする意識や体制。

改善取組

- ・各教科において資料を使った授業を行ったり、各教科で学んだことをつなげ生かす場を設定したりする。
- ・自分の考えをもつ時間を確保するとともに、考えをアウトプットする場面を設定する。
- ・教職員同士が連携を図り、児童生徒の困り感に寄り添いながら指導を行う。